

これまでの「見守り」は…

「監視」型&精神的・経済的負担

カメラやマイクやウェアラブル・高齢者本人が煩わしく、プライバシーも気になる「監視型」と導入など経済的負担・なのに、「いつでも」元気がわからず不安でした



訪問／連絡時しか状況が変わらない



プライバシーが心配「監視」型・「手間」



「なにか」起こった後では遅すぎるかも…



行政・地域・家族的・経済的負担

これからは…

「やさしいみまもり」

世界標準化技術・機器を活用、カメラやマイクやウェアラブル不用、煩わしくない・プライバシー配慮「やさしい」。月一回の訪問や時々電話だけではわからない24時間365日の活動・睡眠が「見える化」して、安心。



世界最先端技術・世界標準ITを活用



カメラやマイクを使わないWi-Fiセンシング



「24時間365日」見える化&〈結〉

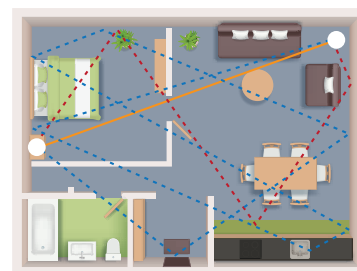


行政・地域・家族的負担軽減&安心！

24時間365日「いつも元気」がわかる&結がつながり、いつまでも元気で笑顔な暮らし



カメラやマイクを使わないから、プライバシーに配慮 世界最先端のWiFiセンシング技術を活用



最先端テクノロジーが集まる世界最大展示会CESで「ベスト・インノベーション」と評された米国オリジン・ワイヤレス社のWiFiセンシング技術を活用。Wi-Fi電波の反射を位相や到達時間のズレを逆算する独自のAI技術（タイムリバーサル）を用いて、わずか30cmの精度で室内の人の動き・位置、睡眠時の呼吸などを検知します。

創業者Ray Liu博士はメリーランド大学のdistinguished professor (荣誉教授)を長く務め、2022年に電気・通信工学分野の技術標準化機関IEEEの次期会長に選出されました。IEEEが2024年に標準化予定の802.11bfはWiFiセンシングに関する規格となっています。2022年からはPhilipsのIoT電球が70カ国以上で販売予定、WiFiセンシングはさらに世界へ広がっていきます。



IEEE

世界標準スマートホームIoT機器通信規格Matter対応 プラグ&プレイかんたんWiFiセンシング機器を活用



世界最先端WiFiセンシング技術の全世界普及に大きな革新をもたらしたのが、シンガポールに2020年12月設立されたベンチャーnamis社。創業者フランス人Jean-EudesとJerome Leroyは世界照明機器大手PHILIPSブランドを擁するSignify社にWiFiセンシングIoT電球WIZを売却した起業家兄弟です。namis社は設立直後の2020年にオリジン・ワイヤレス社に出資すると並行して、2021年には全世界独占提携契約を締結。これまでのWiFiセンシング端末と比べて圧倒的にコンパクトで安価なスマートプラグを開発・提供。さらにソリューションに応じたさまざまなWiFiセンシングIoT機器を開発、米国通信大手ベライゾン、ドイツ通信大手ドイツテレコム、フランス通信大手オレンジの他、欧米ホームセキュリティ最大手など多数の顧客実績を有しています。



2019年Amazon、Apple、Google、Samsung等が立ち上げたConnectivity Standards Alliance (CSA) 策定しているスマートホームの標準規格Matter。namis社CIO Jerômeは88社の世界的な企業が参加するアンビエントセンシング分科会長として世界をリードしています。

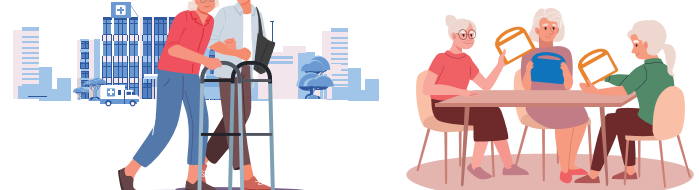


週に1回程度連絡するだけって…ほんとうは不安でした。 24時間365日「いつも元気」がわかる安心感

モニター回答 (有効延べ回答数202人)	家族回答 (有効延べ回答数150人)
みまもられて安心	23%
自分の生活を振り返って良い	22%
表示内容がわかりにくかった	11%
家族と連絡が増えて嬉しい	4%
地域との繋がりが増えた	1%
本人の状況が分かって安心	48%
参加前とあまり変わらない	24%
もっと多くの状況を知りたい	23%
みまもっている実感があ	17%
モニター本人との連絡が増えた	13%
連絡するきっかけができた	9%

2021年からの内閣府実証事業によれば、65歳以上の親と離れて過ごすご家族は週に1回程度連絡をとりあい「元気」を確認しています。連絡しているときに「元気」でいることはわかる。でも、前回からその日までに睡眠が不足しているか、ずっと家にこもりっきりでないか、は本人に尋ねるだけででした。WiFiセンシングによる表示を確認すれば、24時間365日の活動や睡眠が本人のプライバシーに配慮しながら確認できます。実証事業中のアンケートでも「わかって安心」「みまもられて安心」という声を多数いただいています。

毎日の表示を見ると、連絡のきっかけに。 家族や地域とつながる＝〈結〉コミュニケーション



「新しいみまもり」は、離れて暮らすひとの活動や睡眠を表示するだけでなく、さらに家族や地域との〈結〉がつながるコミュニケーションを支援します。2021年からの内閣府実証事業でも、親の睡眠時間が減っていることに気づいたご家族が病院に連れていき肺炎に至るのを防ぐことができたなどの〈自助〉の実例や、自治体におけるコミュニケーションのきっかけになった、団地に住む隣人同士でおたがいに表示を確認しあってつながりが深まった、などの〈共助〉の実例があらわれ始めています。